



地域に愛されて30年  
バサロ感謝祭

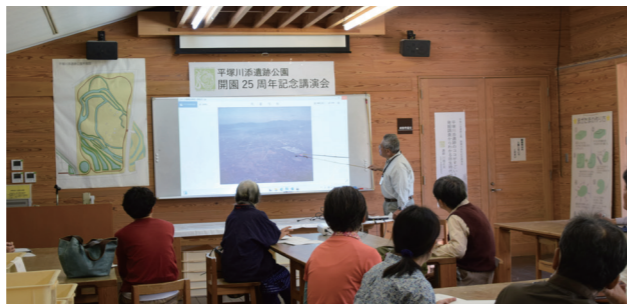


4月26日、道の駅原鶴ファームステーションバサロ（以下、バサロ）で30周年感謝祭が開催されました。バサロは平成8年4月に福岡県第1号の道の駅として誕生し、今年で30周年を迎えました。当日は、ガラポン抽選会や野菜・果物の99円均一販売などが行われ、会場は、新鮮な商品を選びながら買い物を楽しむ来場者でにぎわいました。あいにくの雨となりましたが、家族連れの姿も多く見られ、地域に親しまれてきたバサロの節目を祝う、活気あふれる感謝祭となりました。

地域に感謝を込めて  
企業によるボランティア作業

4月17日、平塚川添遺跡公園でボランティア作業が行われました。平塚工業団地内に立地する明石機械工業株式会社が、新入社員研修を兼ねた地域貢献活動の一環として実施。当日は20人の従業員が参加し、体験学習用の材料づくりや公園内の清掃、復元環濠で繁殖したガマの根の撤去作業が行われました。

平塚川添遺跡公園開園25周年記念  
発掘から見える弥生時代の暮らし



5月10日、平塚川添遺跡公園で開園25周年を記念した講演会が開催されました。講演会は、「平塚川添遺跡のココがすごい！～発掘調査からわかる弥生時代の風景～」と題し、発掘当時の平塚川添遺跡の様子や、そこから見てきた弥生時代の暮らし、そしてこれまでの公園の取り組みについて紹介しました。参加者は熱心に説明を聞き、多くの質問が寄せられました。

また、体験学習館ロビーでは「写真で振り返る平塚川添遺跡公園」と題した展示を行い、これまでの25周年の歩みを写真で紹介しました。



麒麟ビールと朝倉警察署が連携  
飲酒運転根絶への意識を向上

4月13日、麒麟ビール福岡工場で「飲酒運転通報訓練」が開催されました。この取り組みは、飲酒運転を「しない」という意識啓発にとどまらず、飲酒運転が疑われる場面に居合わせた際に、迷わず通報という行動につなげることを目的としたものです。当日は従業員35人が参加。受講者から全従業員に共有され、飲酒運転根絶への意識と行動力の向上を図りました。



第65回博多どんたく港まつり  
鎧武者が博多のまちを行進

5月3日、福岡市で博多どんたく港まつりが開催され、朝倉市から「秋月鎧揃えどんたく隊」が参加しました。

新たに就任したばかりの中島市長や第44代女王卑弥呼をはじめ、秋月鎧揃え保存会、市民有志ら約60人が参加。甲冑などに身を包み、横断幕やのぼり旗を掲げ、博多のまちを行進しました。隊列の後方では、朝倉戦隊サンレンジャーやフクオカリバーも行進。沿道から多くの声援が飛びました。

当日はあいにくの空模様となり、雨が降る中での開催となりましたが、「朝倉！」「おー！」と力強い掛け声をあげながら、呉服町交差点付近から福岡市役所までを約30分かけて行進しました。参加者は「多くの人に朝倉をPRできたことがうれしい」「普段は味わえない貴重な体験ができた」と話しました。



▲(上)呉服町交差点付近からスタート、(中)迫力満点の行進、(下)掛け声とともに元気に朝倉をPR



パレード参加者全員で記念撮影

## あさくらびと

お客様に支えられて  
30年

地域で話題になっている人や団体、企業などを紹介するシリーズ。

第55弾は、開業30周年を迎えた道の駅原鶴 ファームステーションバサロの森山文彦さん取材しました。

## Interview

道の駅原鶴  
駅長

森山 文彦さん

平成8年4月、福岡県第1号の道の駅として誕生。原鶴温泉の近くに位置し、「富有柿」やブドウ、梨など朝倉ならではの特産品が充実しており、観光客や地元利用者に親しまれている。施設内には農産物直売所のほか、テイクアウトコーナーも備え、名物の「巨峰ソフト」や地元食材を使用した加工品も人気。「バサロ」は、地元の方言で「たくさん」「いっぱい」の意。

## 新鮮で高品質な商品

道の駅原鶴ファームステーションバサロ(以下、バサロ)では、1年間を通して豊富で新鮮な野菜や果物を取り扱っています。5月下旬から6月中旬は梅がおすすめ。家庭で梅干しや梅酒づくりに挑戦してもらいたいです。バサロは原鶴温泉近くに位置していることから、宿泊後の帰りに立ち寄られる人も多く、週末には約4千人のお客様にご来店いただいています。

出荷登録者は約540人。最盛期は約650人が登録していましたが、平成29年九州北部豪雨災害や高齢化の影響により減少。広報紙での募集や、野菜に関しては市外の生産者も受け入れながら、生産者の確保に努めています。

バサロで取り扱っている商品の最大の特徴は、品質の高さ。厳しい出荷基準を設けています。近隣の道の駅や直売所にも出荷している生産者からは「基準が厳しい」という声もありましたが、この品質こそがお客様の満足につながっていると考えています。こうした品質を支えているのは、日々努力を惜しまず、厳しい基準に添えてくださる出荷者の皆さまのおかげです。

## お客さまが一番の支え

開業から30年の間に、九州北部

豪雨災害やコロナ禍などを経験、特に九州北部豪雨災害時は、バサロ自体は大きな被害はなかったものの、被害の大きかった地域の生産者が出荷できない状況が続き、結果として8日間休業することに。そうした厳しい状況の中でも、「乾しいたけドレッシング」や「とうがらしみそ」などのオリジナル商品の開発・出張販売などに取り組みました。そして何より、訪れてくれるお客様の存在が最大の支えとなり、困難を乗り切ることができました。

お客さまから、「ここにはあなたの笑顔を見に来ているんだよ」など温かい言葉をいただくことがあります。スタッフがこうした言葉で評価されていることが何よりうれしく、お客さまの言葉がスタッフの大きな励みとなっています。

## 朝倉の魅力を外にも

今後は、バサロだけでなく県南地域全体で連携しながら、市外のお客様にもより身近に感じていただくような取り組みを考えています。あわせて、バサロと出荷組合員が協力し、朝倉の魅力を広く発信できるように努力していきます。

梅雨明けは人気商品であるブドウ、梨などの販売がはじまります。皆さまのご来店を心よりお待ちしております。



道の駅原鶴 ファームステーションバサロ (杷木久喜宮 1665-1 ☎ 63-3888)



## 生産者の顔が見える直売所

■営業時間…8時30分～17時30分  
(毎月第4水曜日は17時閉店)  
■休業日…年未年始



大分自動車道「杷木IC」から車で5分。九州各地からのアクセスが便利な場所に位置しています。5月にはこいのぼり、9月はひまわり、2～3月は菜の花が楽しめます。多くの観光客でにぎわいます。また、バサロオリジナルの「バサロジャー」の缶マグネットも好評発売中です。

